

歯科衛生室だより

糖尿病と歯周病の深い関係

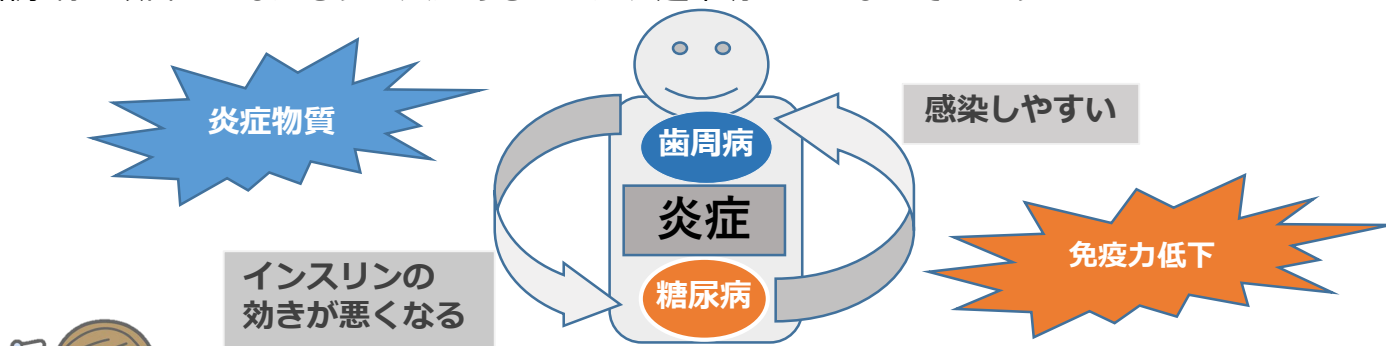
①糖尿病と合併症

糖尿病とは、インスリンが十分に働かないために、血液中を流れるブドウ糖という糖が増えてしまう病気です。血糖の濃度（血糖値）が何年もの間高いまましていると、血管が傷つき将来的に糖尿病の合併症がおきてしまいます。代表的な合併症として、神経障害や骨減少症、腎症、網膜症、大血管障害が挙げられます。また近年、歯肉の慢性的な炎症である**歯周病が糖尿病の6番目の合併症**として挙げられるようになりました。



②歯周病と糖尿病の関係

糖尿病になると細菌に対する抵抗力や治癒力が低下し、歯周病が起きやすい環境になってしまいます。歯周病が悪化すると「炎症物質が発生し、インスリンの効きが悪くなって糖尿病が悪化する」という負のサイクルがうまれます。そこで、歯周病を治療することでこの悪循環を断ち切り、糖尿病の改善につながるケースがあることが、近年明らかになっています。



正しい歯周病予防・治療が
糖尿病改善の可能性につながります